

キューピー神戸工場

最新鋭設備を誇るキューピー(ベルマーク番号07)の神戸工場(神戸市東灘区)を、ベルマーク教育助成財団の職員が見学しました。省エネと効率化・高品質化を実現し、一昨年10月に操業を開始したハイテク工場です。消費費が「食」の大切さや楽しさを体感できる、文字通りの「マヨネーズ工場」でした。

神戸港沿いにあり、免震構造6階建てで、敷地面積6万4千平方メートル、延床面積3万3千平方メートル。全国に九つある工場のうち、西日本のマザー(基幹)工場として、主力商品の家庭用・業務用マヨネーズ、ドレッシングを製造しています。キューピーが国内に工場を新設したのは10年ぶりです。マヨネーズの主力工場としては45年ぶりです。

省エネと効率化・高品質化のハイテク工場

最新の設備を誇るキューピー(ベルマーク番号07)の神戸工場(神戸市東灘区)を、ベルマーク教育助成財団の職員が見学しました。省エネと効率化・高品質化を実現し、一昨年10月に操業を開始したハイテク工場です。消費費が「食」の大切さや楽しさを体感できる、文字通りの「マヨネーズ工場」でした。

神戸港沿いにあり、免震構造6階建てで、敷地面積6万4千平方メートル、延床面積3万3千平方メートル。全国に九つある工場のうち、西日本のマザー(基幹)工場として、主力商品の家庭用・業務用マヨネーズ、ドレッシングを製造しています。キューピーが国内に工場を新設したのは10年ぶりです。マヨネーズの主力工場としては45年ぶりです。

情報を一括管理し、在庫ゼロに

内部は撮影禁止ですが、マヨネーズの見学コースには、「マヨネーズ」と呼ばれる空中通路があり、製造ラインを上空から見てみることもできます。エアーシャワーを浴び、服に付いたちりなどを吹き飛ばしたあと、デッキへ。製造現場にすつかり入り込んだ気分になります。マヨネーズを容器詰めする速さは圧巻でした。従来の充填機では1分間に最大300本でしたが、神戸工場では400本と、大幅にアップしたそうです。

カメラにはズームも
充填を終えたマヨネーズのボトルは、ラッピングマシンでフィルム包装した後、ロボットが箱詰めします。容器に傷はないか、規定通り製造されているか、もセンサーがチェックします。さらに人が定期的に検査して、万全を期しています。

「ごまドレッシング」の調査で、ごまを吸引するロボットは、その作業が一番上手な工場スタッフの動きを正確に覚えさせているとのこと。箱詰めロボットも、製品を傷めないように、人間の手の動きを再現しています。見学コースには、この目と面と装置もありません。最新のロボットと設備が導入されているからです。原料、資材の搬入から、調査、充電、包装、箱詰め、発送まで、生産計画に応じて自動で流れていきます。搬送用のロボットがレーザーで障害物を感じて、巧みに動き回っていました。

財団からの「お知らせ」

【仕様】8インチタイヤが3本、ペダル幅54cm×ペダル幅25cm 重量2.12kg

コラボディパック発売
協賛会社のファインプラス(ベルマーク番号39)が、任天堂のゲームソフト「SPLATOON2(スプラトゥーン2)」と、取り扱ったブランド「TITLE ROLE(タイトルロール)」をコラボさせたディパック(一日分の荷物を入れる袋。リュックサック)を発売しました。ブラックとネイビーの二色展開です。

昨年4月にはファミコン型ミニリュックも発売しています。「FAMILY COMPUTER(ファミコン)」本体のデザインを忠実に再現した大人気商品で、両サイドのコントローラー部分やフロントのカセット差込口はジッパーポケットになっています。全国の量販店やアマゾンなどインターネットでも販売しています。いずれも定価3900円(税込4212円)。ベルマーク点数40点がつきます。

PTA向け保険100万点
あいおいニッセイ同和損害保険(ベルマーク番号92)のPTA向け損害保険商品のベルマークの累計が昨年11月までに、100万点を達成しました。

関係者が協力 V F甲府が4万点寄贈

サッカーJ1のヴァンフォーレ(VF)甲府の試合会場でサポーターたちが持ち寄ったベルマーク4万1484・7点の寄贈式が昨年11月1日、ユニフォーム・スポンサーのはくばく本社(甲府市)で実施されました。J1球団で唯一、収集の取り組みを続けており、今回が5回目の回収です。ベルマーク運動の協賛会社であるあいおいニッセイ同和損害保険(ベルマーク番号92)と代理店のさいとうエージェンシー、V F、はくばくが連携し、毎年秋の試合で回収しています。インターネットやロケットでも広まり、今回は対戦相手である清水エスパルスだったことや朝日新聞の地域面に事前告知が掲載されたことなどもあり、前回の2倍近くが集まりました。はくばくは長瀬重徳社長は「5年目になりましたが、前回の倍近いマークをいただき、サポーターの皆さんに感謝する」とも、貴重な皆さんへの気持ちをベルマークを通じて世の中に役立てていただけたらと思います」とサポーターや関係者に感謝の言葉を述べました。

脱退2社に財団感謝状

昨年3月に協賛会社を「一ネオファースト生命保険」に脱退したサンスター文具。後に、ベルマーク財団は長年の貢献に対して感謝状を贈りました。

サンスター文具(小林大地社長、本社・東京都台東区)は昨年12月13日、財団の小宮幸一広報部長らが訪れ、感謝状を読み上げ、「ありがとうございます」と片山哲徳さんと片山哲徳さんに手渡しました。

サンスター文具は2004年に協賛加入し、学習機にベルマークをつけてきました。生活を楽しく便利にするアイデア文具の開発にも力を入れており、文房具アイデアコンテストは今回で23回目を迎えています。

一ネオファースト生命は2008年に加入後、一

仙台・四郎丸小に12万余点

協賛会社のファミリーファーマー(ベルマーク番号23)が昨年12月14日、仙台市立四郎丸小学校白井副校長長、児童数427人、児童数12万5699・6点を寄贈しました。

2011年度から東日本大震災や熊本地震で被害を受けた学校へ寄贈を続けています。今回もファミリーファーマー、サンクスのお店や

環境への配慮 協賛7社出展

環境に配慮した商品やサービスの展示会「エコプロダクツ」が昨年12月7日から9日、東京有明のビックサイトで開催されました。今回のテーマは「持続可能な(サステナブル)な社会の実現」です。

目録を手渡した仙台南営業所の清和伸之所長(写真左)は「今後も地域に、社会に貢献できるように取り組むを続けていきます」と話しました。

学校近くにある四郎丸吹上店の佳山政美副校長も「子どもたちは笑顔になりますように、これからも引き続き見守りたい」と話しました。

環境への配慮 協賛7社出展 エコプロダクツ サービスの展示会「エコプロダクツ」が昨年12月7日から9日、東京有明のビックサイトで開催されました。今回のテーマは「持続可能な(サステナブル)な社会の実現」です。

「いきなり野菜畑に?」
見学エリアの入り口は4階にあり、エレベーターを降りると、おなじみのキューピーちゃんがお出迎えしてくれます。吹き抜けの開放的な空間に、トマト、ニンジン、ジャガイモなどのオプジーが置かれ、いきなり野菜畑に侵入し、収穫体験ができます。オプジーには、野菜の特徴や

選ぶ方、保存の仕方が書かれていて、思わずメモしてしまいました。「卵は横の「たまご」の部屋」では、「卵はタンパク質の優等生でコレステロールを気にする必要はない」「黄身の色はニワトリのエサに影響されるなど、卵のあれこれを知ることが出来ます。ほかにも、食とキューピーに関する知識を大人も子どもも楽しく学べる展示が盛りだくさんです。」

上釜副工場長から工場の説明を受けたあと、製造工程を見学しました。スタッフに案内されて、ドレッシングとマヨネーズの生産ラインへ。ガラス越しに見ると、人の姿はほとんどありません。最新のロボットと設備が導入されているからです。原料、資材の搬入から、調査、充電、包装、箱詰め、発送まで、生産計画に応じて自動で流れていきます。搬送用のロボットがレーザーで障害物を感じて、巧みに動き回っていました。

内部は撮影禁止ですが、マヨネーズの見学コースには、「マヨネーズ」と呼ばれる空中通路があり、製造ラインを上空から見てみることもできます。エアーシャワーを浴び、服に付いたちりなどを吹き飛ばしたあと、デッキへ。製造現場にすつかり入り込んだ気分になります。マヨネーズを容器詰めする速さは圧巻でした。従来の充填機では1分間に最大300本でしたが、神戸工場では400本と、大幅にアップしたそうです。

カメラにはズームも
充填を終えたマヨネーズのボトルは、ラッピングマシンでフィルム包装した後、ロボットが箱詰めします。容器に傷はないか、規定通り製造されているか、もセンサーがチェックします。さらに人が定期的に検査して、万全を期しています。

「ごまドレッシング」の調査で、ごまを吸引するロボットは、その作業が一番上手な工場スタッフの動きを正確に覚えさせているとのこと。箱詰めロボットも、製品を傷めないように、人間の手の動きを再現しています。見学コースには、この目と面と装置もありません。最新のロボットと設備が導入されているからです。原料、資材の搬入から、調査、充電、包装、箱詰め、発送まで、生産計画に応じて自動で流れていきます。搬送用のロボットがレーザーで障害物を感じて、巧みに動き回っていました。

「脱退2社に財団感謝状」
昨年3月に協賛会社を「一ネオファースト生命保険」に脱退したサンスター文具。後に、ベルマーク財団は長年の貢献に対して感謝状を贈りました。

サンスター文具(小林大地社長、本社・東京都台東区)は昨年12月13日、財団の小宮幸一広報部長らが訪れ、感謝状を読み上げ、「ありがとうございます」と片山哲徳さんと片山哲徳さんに手渡しました。

サンスター文具は2004年に協賛加入し、学習機にベルマークをつけてきました。生活を楽しく便利にするアイデア文具の開発にも力を入れており、文房具アイデアコンテストは今回で23回目を迎えています。

一ネオファースト生命は2008年に加入後、一

「東日本大震災に6年間 キューピーの特別寄付 支援内容を冊子で報告」
2011年度から継続1億3820万5800円に上る特別寄付をベルマーク財団に続けてきたキューピー(ベルマーク番号07)に対し、財団は支援内容を冊子にまとめ、報告しました。特別寄付は16年度までの財団の東北支援の総額のおよそ3分の1にあたり、冊子は16年度から発行されています。冊子は東北3県の小・中学校を中心に、教育設備や部活動の練習、遠征のバス代支援などに充てられました。支援を受けた学校からは、お礼と感謝のメッセージが多数、届いています。報告冊子は2冊目、今回は14年からの3年度分をA4判、23ページにまとめました。寄付の使い道や支援者のリスト、被災校から届いた感謝メッセージを掲載しました。

キューピー本社(東京都渋谷区)を財団の中島常務理事が昨年11月30日に訪ね、「長きにわたり、本当にありがとうございました。被災校に大変喜ばれています。感謝状を、今度事務局長が広報・CSR本部の石橋弘行CSR部長に5部を手渡しました。社内配布用は別途、便送りました。CSR部の社会・環境チームリーダーの竹内直基さんは「社内でも被災地支援の関心は高く、冊子を広く共有し、今後被災地のニーズをくみ、ソフト面での支援も続けていきたい」と話しました。

「東日本大震災に6年間 キューピーの特別寄付 支援内容を冊子で報告」
2011年度から継続1億3820万5800円に上る特別寄付をベルマーク財団に続けてきたキューピー(ベルマーク番号07)に対し、財団は支援内容を冊子にまとめ、報告しました。特別寄付は16年度までの財団の東北支援の総額のおよそ3分の1にあたり、冊子は16年度から発行されています。冊子は東北3県の小・中学校を中心に、教育設備や部活動の練習、遠征のバス代支援などに充てられました。支援を受けた学校からは、お礼と感謝のメッセージが多数、届いています。報告冊子は2冊目、今回は14年からの3年度分をA4判、23ページにまとめました。寄付の使い道や支援者のリスト、被災校から届いた感謝メッセージを掲載しました。

キューピー本社(東京都渋谷区)を財団の中島常務理事が昨年11月30日に訪ね、「長きにわたり、本当にありがとうございました。被災校に大変喜ばれています。感謝状を、今度事務局長が広報・CSR本部の石橋弘行CSR部長に5部を手渡しました。社内配布用は別途、便送りました。CSR部の社会・環境チームリーダーの竹内直基さんは「社内でも被災地支援の関心は高く、冊子を広く共有し、今後被災地のニーズをくみ、ソフト面での支援も続けていきたい」と話しました。

「卵のコク」が、おいしさの秘密です。
卵のコクがより感じられる、シンプルな配合。カロリーオフとは思えないおいしさと満足感をおとどけます。

環境への配慮 協賛7社出展 エコプロダクツ サービスの展示会「エコプロダクツ」が昨年12月7日から9日、東京有明のビックサイトで開催されました。今回のテーマは「持続可能な(サステナブル)な社会の実現」です。

目録を手渡した仙台南営業所の清和伸之所長(写真左)は「今後も地域に、社会に貢献できるように取り組むを続けていきます」と話しました。

学校近くにある四郎丸吹上店の佳山政美副校長も「子どもたちは笑顔になりますように、これからも引き続き見守りたい」と話しました。

環境への配慮 協賛7社出展 エコプロダクツ サービスの展示会「エコプロダクツ」が昨年12月7日から9日、東京有明のビックサイトで開催されました。今回のテーマは「持続可能な(サステナブル)な社会の実現」です。

「東日本大震災に6年間 キューピーの特別寄付 支援内容を冊子で報告」
2011年度から継続1億3820万5800円に上る特別寄付をベルマーク財団に続けてきたキューピー(ベルマーク番号07)に対し、財団は支援内容を冊子にまとめ、報告しました。特別寄付は16年度までの財団の東北支援の総額のおよそ3分の1にあたり、冊子は16年度から発行されています。冊子は東北3県の小・中学校を中心に、教育設備や部活動の練習、遠征のバス代支援などに充てられました。支援を受けた学校からは、お礼と感謝のメッセージが多数、届いています。報告冊子は2冊目、今回は14年からの3年度分をA4判、23ページにまとめました。寄付の使い道や支援者のリスト、被災校から届いた感謝メッセージを掲載しました。

キューピー本社(東京都渋谷区)を財団の中島常務理事が昨年11月30日に訪ね、「長きにわたり、本当にありがとうございました。被災校に大変喜ばれています。感謝状を、今度事務局長が広報・CSR本部の石橋弘行CSR部長に5部を手渡しました。社内配布用は別途、便送りました。CSR部の社会・環境チームリーダーの竹内直基さんは「社内でも被災地支援の関心は高く、冊子を広く共有し、今後被災地のニーズをくみ、ソフト面での支援も続けていきたい」と話しました。

「脱退2社に財団感謝状」
昨年3月に協賛会社を「一ネオファースト生命保険」に脱退したサンスター文具。後に、ベルマーク財団は長年の貢献に対して感謝状を贈りました。

サンスター文具(小林大地社長、本社・東京都台東区)は昨年12月13日、財団の小宮幸一広報部長らが訪れ、感謝状を読み上げ、「ありがとうございます」と片山哲徳さんと片山哲徳さんに手渡しました。

サンスター文具は2004年に協賛加入し、学習機にベルマークをつけてきました。生活を楽しく便利にするアイデア文具の開発にも力を入れており、文房具アイデアコンテストは今回で23回目を迎えています。

一ネオファースト生命は2008年に加入後、一

「東日本大震災に6年間 キューピーの特別寄付 支援内容を冊子で報告」
2011年度から継続1億3820万5800円に上る特別寄付をベルマーク財団に続けてきたキューピー(ベルマーク番号07)に対し、財団は支援内容を冊子にまとめ、報告しました。特別寄付は16年度までの財団の東北支援の総額のおよそ3分の1にあたり、冊子は16年度から発行されています。冊子は東北3県の小・中学校を中心に、教育設備や部活動の練習、遠征のバス代支援などに充てられました。支援を受けた学校からは、お礼と感謝のメッセージが多数、届いています。報告冊子は2冊目、今回は14年からの3年度分をA4判、23ページにまとめました。寄付の使い道や支援者のリスト、被災校から届いた感謝メッセージを掲載しました。

キューピー本社(東京都渋谷区)を財団の中島常務理事が昨年11月30日に訪ね、「長きにわたり、本当にありがとうございました。被災校に大変喜ばれています。感謝状を、今度事務局長が広報・CSR本部の石橋弘行CSR部長に5部を手渡しました。社内配布用は別途、便送りました。CSR部の社会・環境チームリーダーの竹内直基さんは「社内でも被災地支援の関心は高く、冊子を広く共有し、今後被災地のニーズをくみ、ソフト面での支援も続けていきたい」と話しました。

「東日本大震災に6年間 キューピーの特別寄付 支援内容を冊子で報告」
2011年度から継続1億3820万5800円に上る特別寄付をベルマーク財団に続けてきたキューピー(ベルマーク番号07)に対し、財団は支援内容を冊子にまとめ、報告しました。特別寄付は16年度までの財団の東北支援の総額のおよそ3分の1にあたり、冊子は16年度から発行されています。冊子は東北3県の小・中学校を中心に、教育設備や部活動の練習、遠征のバス代支援などに充てられました。支援を受けた学校からは、お礼と感謝のメッセージが多数、届いています。報告冊子は2冊目、今回は14年からの3年度分をA4判、23ページにまとめました。寄付の使い道や支援者のリスト、被災校から届いた感謝メッセージを掲載しました。

キューピー本社(東京都渋谷区)を財団の中島常務理事が昨年11月30日に訪ね、「長きにわたり、本当にありがとうございました。被災校に大変喜ばれています。感謝状を、今度事務局長が広報・CSR本部の石橋弘行CSR部長に5部を手渡しました。社内配布用は別途、便送りました。CSR部の社会・環境チームリーダーの竹内直基さんは「社内でも被災地支援の関心は高く、冊子を広く共有し、今後被災地のニーズをくみ、ソフト面での支援も続けていきたい」と話しました。